



国道 337 号「当別バイパス」が全面開通

札幌開発建設部が建設していた札幌大橋から国道 275 号までの区間からなる、国道 337 号「当別バイパス (全長 15.4 km)」が全面開通し、記念式典が当別川橋で開かれました。

開通式に先立ち西当別・川下・蘇岱小学校の児童 150 人で、交通安全を祈願したメッセージが添えられた手作りの風車を橋の欄干に設置しました。

開通式は道央圏連絡道路当別地区建設促進期成会の主催で開かれ、堀会長は「道央圏の大黒柱的な道路として発展することを期待している」と挨拶し、泉亭町長ほか 7 人によるテープカット、小学生 3 人のくす球割に続いて、当別太鼓の演奏の中、参加者全員で渡り初めを行いました。(3 月 31 日)



西当別小で入学式

町内各小学校で 210 人の新 1 年生が入学を迎えました。

西当別小学校では 97 人の新 1 年生が入学し、緊張気味に体育館に入場したのち、山内秀治校長から「元気な声で挨拶してください。交通事故に注意してください」と激励を受けました。

また、児童会会長の三浦祐太郎くん (6 年) のほか児童会役員から「西当小の人は親切で優しいので、分からないことがあればお兄さん・お姉さんに聞いてください」と歓迎の挨拶が贈られたほか、学級ごとに先生の声に合わせて「がんばるぞーっ!」と大きな声で手を振り上げていました。

その後、2 年生の紙芝居を交えた遠足・運動会・学芸発表会など学校行事の紹介が披露され、これからの学校生活に胸を膨らませていました。(4 月 7 日)





元気に泳げ！鯉のぼり

Love！パンケ（辻野浩代表）の主催で、本通橋と幸橋の間に40本の鯉のぼりが上げられました。

同団体は、河川に花壇を設置するなどのボランティア活動を行っていますが、鯉のぼりを上げることで、町に賑わいを与えたいと昨年からは始めたものです。

鯉のぼりは、町内外のたくさんの方から寄贈をいただいたものですが、集まった育成会の子どもたちら50人の手で、吊るした鯉のぼりを掛け声とともに、一気に引き上げていました。

空高く上がった鯉のぼりは、早春の青空のもと、大きな目でパンケチュウベシナイ川を見おろしていました。（4月15日）



車いす体験などで楽しく福祉を学びました

町教委の主催で北海道医療大学の学生スタッフと福祉について楽しく学ぶ講座「楽しく福祉を学ぼう」が医療大学看護福祉部横井寿之教授を講師に、小学生11名の参加で8回の講座を行いました。

この講座は医療大構内で目隠しをして歩く体験・車いすの体験、車いすで生活している方の話や、福祉施設でパン作りの体験などを実施。

最終回はこれまでの講座で学んだこと・体験したことを振り返り、参加していた小学生は「障害を持った人の気持ちがだんだん分かってきた」、「車いすは段差や坂が実際に体験してみて大変だった」と、学生スタッフからは「小学生と接することで新たな視点が生まれた」、「日常生活で福祉に接する機会があるけど、何気なく過ぎるのではなく、普段から気をつける事が重要」などの感想がありました。

最後に学生から障害者が作った写真立てが、小学生からは横井教授・学生スタッフへ感謝の気持ちが書かれたメッセージカードが贈られました。（3月23日）



太美郵便局で住民票の写しなどの交付事務を開始

町と太美郵便局とで1月に調印した協定に基づき、JR石狩太美駅内に設置されていた役場太美出張所の業務を同郵便局で取り扱うことになりました。

住民票や戸籍などに関する交付は郵便局側が行い、新たに設置された行政相談コーナーに町職員1名が常駐し、税の納税業務・身分証明書などの交付を取り扱うなど地域住民にとっては利便性が一層高まるものと期待されています。

業務開始に先立ち、泉亭町長・芳形局長をはじめ、太美地域の町内会長などが出席をし、記念セレモニーが開かれました。（4月1日）

